

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2017～2018年度 国際ロータリー イアン H.S. ライズリー 会長テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ロータリー : 変化をもたらす

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町 3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 吉原 孝彦
幹事 出口 達也
会報委員長 佐野 彰彦

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

(4/30) ……休 会 (法定休日)

第3006回例会プログラム

[当年度=32回目; 当月=3週目]

2018年(平成30年) 4月16日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点 鐘……………〈会 長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……………それどころロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食 事
12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 元在名古屋カナダ領事挨拶
……………^{ボブ・メイソン}Bob Mason 様
9. 幹事報告
10. 副幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(4/23) ……

卓話 「FC 刈谷新体制発表」

講師 かえるスポーツクラブ

会長 長谷 迅 様

監督 ビラ・ベイガ 様

フィジカルコーチ

ウィリアム・シュミット 様

(紹介者 下谷 敏朗 会員)

※第3四半期皆出席の発表(出席委員会)

13:00 15. 本日のプログラム

卓話 「SWANS ブランドと

スポーツビジネス」

講師 山本光学株式会社

代表取締役社長 山本 直之 様

(紹介者 嶋津 孝久 会員)

16. 謝 辞

17. 点 鐘……………〈会 長〉

18. 閉会宣言

13:30 19. 散 会

ゲ ス ト

元在名古屋カナダ領事 ポブ・メイソン 様 } ご夫妻
ジャネット・メイソン 様 }



出 席

会員総数 92名 出席免除 24名

出席義務者+免除者の内例会出席者 86名

欠席 5名 出席率 94.18%

前々回(4/2)の修正出席率 100%

副 幹 事 報 告

1) 4月15日(日)地区研修協議会が開催されました。次年度役員、委員長の皆様、ご出席ありがとうございました。



会 長 あ い さ つ

熊本地震

吉原 孝彦



熊本地震は2016年4月14日午後9時26分以降に熊本県と大分県で相次いで発生した地震です。震度7の地震が立て続けに2回発生とか、一連の地震で震度6弱以上の地震が7回

発生したのも観測史上初めてのことでした。2回目のマグニチュード7.3というのは阪神・淡路大震災と同規模でした。

この地震は右横ずれ断層型の内陸地殻内地震であり、断層の動いた範囲は東側では阿蘇山のカルデラまで達していました。

死者は直接死50人と車中泊等でのエコノミー症候群など関連死を含め247名。負傷者は2,783名、避難者は最大で183,882人に上りましたが、7か月後の11月18日に最後の避難所が閉鎖され、避難者はゼロになりました。また地震の際、消防は307名、警察は159名、自衛隊は1,225名を救出したそうです。

住宅は全壊が8,672棟、半壊が34,514棟でした。建築基準法が改正された以前に建築された古い家屋に集中しており、九州では台風対策の為重い瓦を使う住宅が多い点も被害を拡大させました。益城町では新耐震基準で建築された家も全壊しましたが、震度6強から7の揺れに

(2)

2度襲われることは想定されていません。

民間企業も緊急支援をしました。コンビニ各社から、イオン、牛丼チェーンのすき家、吉野家。COCO 壺番屋も自社のキッチンカーで支援しました。ニトリとか高須クリニックも自社のヘリコプターで支援しました。

皆さんにもご協力いただきました、非常用缶詰パンのパン・アキモトも3,600食分を提供したとありますが、私ども刈谷防災まちづくり協議会は各社で備蓄してありましたパン缶215ケース3,225缶を提供しました。

地震を他人事と思わず、日ごろから備えていきましょう。

卓 話

「SWANS ブランドとスポーツビジネス」

山本光学株式会社

代表取締役社長 山本 直之 様



当社は本社が大阪府東大阪市にあり、産業用ゴーグル、マスクなどの安全用品の製造販売とSWANSブランドでスキーゴーグル、スイミングゴーグル、スポーツサングラスの製造販売を行っております。私の曾祖父が1911年(明治44年)に創業いたしまして、今年で107年目を迎えました。創業時より人々の安全で快適な視界を護るため、目的に応じて様々なアイウェアを社内でゼロから設計/生産し続けて参りました。光学的な専門性を有するレンズ設計とそのレンズ性能を最大に発揮できるフレームを一貫して開発/生産しております。

スポーツ用アイウェアの製造販売は1972年のスキーゴーグルに始まり、スイミングゴーグル、サングラスなどを様々な選手にご使用いただき、開発改良を継続しております。

特に4年に1度開催されるオリンピックは、ブランド露出だけでなく新製品開発の目標としても重要視しております。マラソン用サングラスは、1992年バルセロナオリンピックの時に陸連からの要請を受けて開発し、有森裕子さんが見事銀メダルを獲得されました。また2004年アテネオリンピックでは、私自身が現地に出向き、野口みずき選手が金メダルを獲得するシーンに立ち会うこと

ができました。他にも多くのアスリートに商品供給をしておりますが、特にゴルフの石川遼プロとは2007年のプロデビュー時より10年間、一緒になってフレームデザインやレンズ開発を行いました。

当社は現場主義の商品開発を心がけており、スキー場での雪上テストやスイミングプールでの試着会などを通じて、ユーザーの意見を収集し、開発につなげております。また社員自身が新製品のモニターテストを行う機会も多くあります。さらに大阪と東京には直営店がございます。

現在、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて準備を進めております。是非 SWANS を装着した選手の活躍を期待していただき、一緒に応援していただければ幸いです。

本日はご清聴誠にありがとうございました。